自閉症スペクトラムがアレキシサイミア傾向に与える影響

○後藤和史¹(¹愛知みずほ大学人間科学部)

キーワード: アレキシサイミア, 自閉症スペクトラム, 構造方程式モデリング

Effects of autism spectrum on alexithymia.

Kazufumi GOTOW¹,(¹Aichi Mizuho College)

Key Words: alexithymia, autism spectrum, structural equation modeling

目 的

近年, アスペルガー障害を含む自閉症スペクトラムとアレキシサイミアとの間には概念的なオーバーラップがあることが議論されている (Fitzgerald & Bellgrove, 2006 など)。

そこで本研究では自閉症スペクトラムがアレキシサイミア傾向に与える影響を検討することを目的とした。

方 法

参加者 大学生 160 名 (男性 52 名, 女性 108 名, 平均年齢 20.29 歳) が調査に参加した。

質問紙構成 アレキシサイミア傾向の測定には Gotow Alexithymia Questionnaire (GALEX; 後藤ら, 1999) を用いた。自閉症スペクトラムの測定には Autism-Spectrum Quotient: A Q (Baron-Cohen et al., 2001) の日本語版 (若林, 2003; 若林・東條ら, 2004) を用いた。

調査手続き 講義中に質問紙を配布, 簡単な質問紙の説明をし, 同意を得た上で回答を行ってもらい, 講義終了時に回収した。

結 果

指標の処理 それぞれの質問紙をオリジナルにしたがって合計点を算出した。

相関分析 アレキシサイミア傾向と A Q の下位概念間の関連を検討するために相関係数を算出した。その結果, GALEX の「感情認識言語化困難」と A Q の「社会的スキル」「注意の切り替え」「コミュニケーション」との間に弱～中程度の正の相関, GALEX の「空想内省困難」と A Q の「想像力」との間に弱～中程度の正の相関が認められた。

構造方程式モデリング また A Q がアレキシサイミア傾向に与える影響を検討するために, 構造方程式モデリングを用いて分析を行った。

まず, A Q の各下位尺度が自閉症スペクトラム因子を形成し, これがアレキシサイミア傾向の 2 尺度に影響を与える, というモデルを設定して分析を行った。その結果, 分析は収束したものの, 自閉症スペクトラム因子から「細部への注意」へのパス係数がほぼ 0 であり, 当該因子の概念的妥当性が不十分である可能性が示唆された。

そこで自閉症スペクトラム因子を構成する A Q の各下位尺度のパスに対して等値制約を加えて再度分析を行い, 自閉症スペクトラム因子から A Q の各下位尺度のパスが同等な影響をもつ結果が得られたが, 適合度指標が低かった (RMSEA=.250)。

さらに等値制約に加えて A Q の各下位尺度の独自因子間の相関をすべて設定し, 探索的モデル特定化を用いて検討したところ,

「社会的スキル」「注意の切り替え」「コミュニケーション」の独自因子間に正の相関を持ち, 「細部への注意」と「想像力」の独自因子間に負の相関を持つモデルがもっとも適合的であった。

最終的には, 自閉症スペクトラム因子 (等値制約) に加えて「社会的スキル」「注意の切り替え」「コミュニケーション」から構成される別の独立した因子 (「コミュニケーション不安」) を設定し, 自閉症スペクトラムがアレキシサイミア傾向に与える影響およびアレキシサイミア傾向と「コミュニケーション不安」との相関を同時に検討するモデルを設定して分析した。その結果 (図 1 参照), 自閉症スペクトラムがアレキシサイミア傾向の 2 側面に正の影響を持ち, 感情認識言語化困難がコミュニケーション不安と正の相関を持つ結果が得られた。

考 察

自閉症スペクトラムはアレキシサイミア傾向の 2 側面に対して正の影響を与えていることが見出された。これは相関分析から示唆される単純な下位概念間のオーバーラップのみならず, 自閉症スペクトラムがアレキシサイミアの背景にあることを示唆している。

また本研究の分析時に妥当性の観点から問題視した A Q の因子構造について, Hoekstra et al. (2008) は「細部への注意」が他の 4 側面とは独立していることを示唆しており, 今後のさらなる検討を必要とする。

(GOTOW Kazufumi)

図1 自閉症スペクトラムがアレキシサイミア傾向に与える影響